

2021年11月12日

上場会社名 D I C株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4631 URL https://www.dic-global.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 猪野 薫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 金子 潤 TEL 03-6733-3000
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	615,842	19.7	33,259	30.0	33,902	47.6	15,285	9.9
2020年12月期第3四半期	514,308	△10.8	25,577	△13.2	22,965	△23.4	13,913	△24.1

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 39,991百万円 (497.0%) 2020年12月期第3四半期 6,699百万円 (△24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	161.48	—
2020年12月期第3四半期	146.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,166,488	380,403	29.7
2020年12月期	817,950	351,364	38.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 346,382百万円 2020年12月期 318,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年12月期	—	50.00	—		
2021年12月期 (予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	860,000	22.6	48,000	21.0	47,500	30.3	22,000	66.3	232.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料4ページ「1. 経営成績 (3) 通期の業績見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）Colors & Effects USA LLC、除外 1社 （社名）－
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料10ページ「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	95,156,904株	2020年12月期	95,156,904株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	501,196株	2020年12月期	506,322株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	94,655,339株	2020年12月期3Q	94,650,497株

※当社は、2017年度12月期より「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況	2
(2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績	3
(3) 通期の業績見通し	4
2. 財政状態	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 経営成績

(1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況

(単位：億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	現地通貨ベース 前年同期比
売上高	5,143	6,158	+19.7%	+16.5%
営業利益	256	333	+30.0%	+27.5%
経常利益	230	339	+47.6%	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	139	153	+9.9%	—
E B I T D A	436	513	+17.5%	—
US\$/円 (平均)	107.16	108.50	+1.3%	—
EUR/円 (平均)	120.49	129.68	+7.6%	—

EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

当第3四半期連結累計期間（2021年1月～9月）における当社グループの業績は、売上高は前年同期比19.7%増の6,158億円でした。2021年7月から業績が連結対象となったC&E顔料事業（旧ドイツBASF社のColors & Effects顔料事業）を除くと、15.8%の増収となりました。新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗などに伴い、世界各国で感染対策と経済活動の両立が図られるなか、国内外における活発なデジタル関連需要を背景に、高付加価値製品である半導体、電気・電子向け材料などの出荷が引き続き好調に推移しました。また、生活必需品である食品包装分野の出荷が堅調であったほか、一部の国での行動制限の緩和により、化粧品用顔料の出荷も回復基調となりました。一方で、自動車向け材料につきましては、総じて出荷が堅調に推移したものの、地域・品目によって半導体不足やロックダウンによる自動車減産の影響が見られました。

営業利益は、前年同期比30.0%増の333億円でした。C&E顔料事業を除くと、55.0%の増益となりました。当第3四半期（7-9月）には、原油価格上昇などによる原料コストやサプライチェーンの停滞を背景とした物流コスト増加の影響が一層強まりましたが、引き続き高付加価値製品を中心に各セグメントで出荷を伸ばしたことに加え、様々な製品において価格対応に取り組むことでコスト増加影響の低減に努めました。しかしながら、C&E顔料事業の統合に伴う一時費用を計上したことなどが、増益幅を押し下げました。

経常利益は、持分法による投資利益や為替差益の増加などにより、前年同期比47.6%増の339億円でした。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比9.9%増の153億円でした。

EBITDAは、前年同期比17.5%増の513億円でした。

(2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績

(単位：億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年 同期比	現地通貨 ベース 前年同期比	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年 同期比	現地通貨 ベース 前年同期比
パッケージング & グラフィック	2,862	3,224	+12.6%	+9.5%	135	161	+18.5%	+16.9%
カラー&ディスプレイ	799	1,091	+36.6%	+32.5%	63	32	△49.7%	△46.5%
ファンクショナル プロダクト	1,704	2,085	+22.4%	+19.7%	112	204	+81.7%	+77.7%
その他、全社・消去	△222	△242	—	—	△55	△64	—	—
計	5,143	6,158	+19.7%	+16.5%	256	333	+30.0%	+27.5%

[パッケージング&グラフィック]

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	現地通貨ベース 前年同期比
売上高	2,862億円	3,224億円	+12.6%	+9.5%
営業利益	135億円	161億円	+18.5%	+16.9%

売上高は、前年同期比12.6%増の3,224億円でした。食品包装分野では、パッケージ用インキは米州や欧州で引き続き出荷が堅調であったことに加え、国内では緊急事態宣言が再発令されるなか、昨年よりも影響が限定的であったことにより、増収となりました。商業印刷や新聞を主用途とする出版用インキについては、国内での商業向けがチラシやイベント関連印刷物の需要減により減収となるも、引き続き市況が好調なアジアや安定供給を背景にシェアを伸ばす米州や欧州で出荷が増えたことにより、増収となりました。デジタル印刷で使用されるジェットインキは屋外広告(看板・ポスター)やバナーなどの産業用や商業印刷用が好調に推移したことに加え、2020年6月に実施したテキスタイル用事業の買収効果もあり、大幅な増収となりました。

営業利益は、前年同期比18.5%増の161億円でした。海外を中心に原料価格上昇による原料コストの増加の影響が一層強まり、各地域で価格対応に取り組んだ結果、アジアでは減益となりましたが、セグメント全体では増益を確保しました。

[カラー&ディスプレイ]

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	現地通貨ベース 前年同期比
売上高	799億円	1,091億円	+36.6%	+32.5%
営業利益	63億円	32億円	△49.7%	△46.5%

売上高は、前年同期比36.6%増の1,091億円でした。C&E顔料事業を除くと、11.5%の増収となりました。既存事業につきましては、色材分野では全体で増収となるなか、化粧品用顔料も新型コロナウイルスのワクチン普及により行動制限が緩和されたことで出荷が引き続き回復基調となりました。ディスプレイ分野では、カラーフィルタ用顔料は好調なパネル需要により出荷が伸び増収となりましたが、TF T液晶は中国メーカーとの競争激化により、減収となりました。スペシャリティ分野では光輝材が引き続き欧州での建材用発泡コンクリートの需要増により、増収となりました。こうした既存事業の増収に加え、C&E顔料事業の業績が連結対象となったことが全体の売上高を更に押し上げました。

営業利益は、前年同期比49.7%減の32億円でした。C&E顔料事業を除くと、51.9%の増益となりました。化粧品用顔料の出荷回復に加え、カラーフィルタ用顔料や光輝材など高付加価値製品の出荷が引き続き堅調であるなど、既存事業は好調を維持しましたが、当第3四半期においてC&E顔料事業統合に伴う一時費用を計上したことなどから、大幅な減益となりました。

[ファンクショナルプロダクツ]

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	現地通貨ベース 前年同期比
売上高	1,704億円	2,085億円	+22.4%	+19.7%
営業利益	112億円	204億円	+81.7%	+77.7%

売上高は、前年同期比22.4%増の2,085億円でした。半導体分野を主用途とするエポキシ樹脂は電子機器に使用される封止材向けを中心に出荷が好調に推移しました。また、スマートフォンなどのモバイル機器を主用途とする工業用テープの出荷も堅調に推移しました。サステナブル樹脂[※]は、電気・電子、建材向けなど幅広い用途の出荷が好調に推移するなか、アジアにおいて自動車向け材料の出荷が一部停滞しました。自動車の軽量化や電装化に伴って用途が拡大しているPPSコンパウンドは、自動車市場への半導体不足による影響が懸念されるなか、引き続き安定した受注状況を維持し、全ての地域で増収となりました。

営業利益は、前年同期比81.7%増の204億円でした。原料コストが増加傾向にあるなか、エポキシ樹脂など高付加価値製品の出荷が引き続き好調を維持していることに加え、各製品で価格対応に取り組んだことにより、大幅な増益となりました。

※サステナブル樹脂：環境対応と機能性を高めることを目指した樹脂戦略製品の総称で、水性、UV硬化型、ポリエステル、アクリル、ウレタン樹脂が含まれます。

(3) 通期の業績見通し

2021年8月10日に公表した業績見通しを以下のとおり修正します。

(単位：億円)

	前連結会計年度	通期見通し	前年同期比	現地通貨ベース 前年同期比
売上高	7,012	8,600 (8,400)	+22.6%	+18.9%
営業利益	397	480	+21.0%	+18.8%
経常利益	365	475	+30.3%	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	132	220	+66.3%	—
US\$/円 (平均)	106.37	109.00	+2.5%	—
EUR/円 (平均)	121.43	131.00	+7.9%	—

() 内の数値は2021年8月10日公表値

(業績見通しの修正理由)

当社グループは、原油価格上昇などによる世界的な原料コストの増加やサプライチェーンの停滞を背景とした物流コスト増加の影響に対し、各地域及び各製品で価格対応に持続的に取り組んでいます。その進捗によって販売価格上昇による増収が見込まれることから、売上高の通期業績予想を修正します。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれています。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原材料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 財政状態

（資産、負債及び純資産の状況に関する分析）

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、主にドイツ BASF 社が保有する顔料事業を買収したことなどにより、前連結会計年度末と比べて3,485億円増加し、1兆1,665億円となりました。負債の部は、主に社債及びコマーシャル・ペーパーの発行、借入金の増加により、前連結会計年度末比3,195億円増の7,861億円となりました。また、純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や為替の影響などにより、前連結会計年度末比290億円増の3,804億円となりました。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,885	161,790
受取手形及び売掛金	197,595	229,546
商品及び製品	78,273	127,655
仕掛品	9,065	10,484
原材料及び貯蔵品	55,058	82,047
その他	24,294	25,437
貸倒引当金	△9,171	△9,314
流動資産合計	399,997	627,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	86,885	106,045
機械装置及び運搬具(純額)	67,386	96,709
工具、器具及び備品(純額)	10,468	15,040
土地	51,362	60,536
建設仮勘定	11,977	15,603
有形固定資産合計	228,078	293,933
無形固定資産		
のれん	819	17,491
ソフトウェア	2,963	3,093
顧客関連資産	2,853	6,467
その他	4,877	25,575
無形固定資産合計	11,512	52,625
投資その他の資産		
投資有価証券	57,201	56,575
退職給付に係る資産	63,784	67,779
その他	58,112	68,679
貸倒引当金	△734	△748
投資その他の資産合計	178,363	192,285
固定資産合計	417,953	538,844
資産合計	817,950	1,166,488

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,263	131,658
短期借入金	37,371	52,767
コマーシャル・ペーパー	—	100,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払法人税等	4,985	3,068
賞与引当金	5,480	5,423
その他	54,082	72,414
流動負債合計	197,181	385,331
固定負債		
社債	100,000	140,000
長期借入金	123,766	171,145
退職給付に係る負債	17,071	43,224
資産除去債務	1,691	1,773
その他	26,877	44,612
固定負債合計	269,405	400,754
負債合計	466,586	786,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,557	96,557
資本剰余金	94,468	94,468
利益剰余金	219,778	225,584
自己株式	△1,800	△1,777
株主資本合計	409,003	414,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,903	5,763
繰延ヘッジ損益	2,468	15
為替換算調整勘定	△82,321	△59,917
退職給付に係る調整累計額	△13,562	△14,310
その他の包括利益累計額合計	△90,511	△68,449
非支配株主持分	32,873	34,021
純資産合計	351,364	380,403
負債純資産合計	817,950	1,166,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	514,308	615,842
売上原価	400,497	482,597
売上総利益	113,811	133,246
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	32,573	36,422
貸倒引当金繰入額	561	76
賞与引当金繰入額	2,953	3,148
退職給付費用	△110	△544
その他	52,258	60,885
販売費及び一般管理費合計	88,234	99,986
営業利益	25,577	33,259
営業外収益		
受取利息	1,002	914
受取配当金	415	360
為替差益	—	503
持分法による投資利益	159	1,688
その他	1,689	1,525
営業外収益合計	3,265	4,990
営業外費用		
支払利息	1,728	1,516
為替差損	909	—
その他	3,239	2,831
営業外費用合計	5,877	4,347
経常利益	22,965	33,902
特別利益		
関係会社株式及び出資金売却益	—	769
固定資産売却益	1,722	310
負ののれん発生益	1,305	—
特別利益合計	3,027	1,079
特別損失		
買収関連費用	3,357	6,393
固定資産処分損	1,418	1,904
減損損失	—	1,277
リストラ関連退職損失	751	408
特別損失合計	5,525	9,982
税金等調整前四半期純利益	20,467	24,999
法人税等	4,855	8,070
四半期純利益	15,612	16,928
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,699	1,644
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,913	15,285

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	15,612	16,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	882	2,890
繰延ヘッジ損益	803	△2,453
為替換算調整勘定	△12,810	22,458
退職給付に係る調整額	2,724	△869
持分法適用会社に対する持分相当額	△512	1,037
その他の包括利益合計	△8,913	23,063
四半期包括利益	6,699	39,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,165	37,347
非支配株主に係る四半期包括利益	1,534	2,644

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(株式給付信託(BBT))

当社は、2017年12月期より、執行役員を兼務する取締役及び執行役員（以下「対象取締役等」という。）に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」（以下「本制度」という。）を導入しています。本制度は、対象取締役等の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にすることで、対象取締役等の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としています。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じています。

(1) 取引の概要

本制度に基づき設定される信託が当社の拠出する金銭を原資として当社株式を取得します。当該信託は、当社株式及び当社株式の時価相当の金銭を、当社の定める役員株式給付規程に従って、対象取締役等に対して給付します。当該給付の時期は、原則として対象取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する自社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しています。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は前連結会計年度末において549百万円及び139千株、当第3四半期連結会計期間末において520百万円及び132千株です。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	パッケージング& グラフィック	カラー& ディスプレイ	ファンクショナル プロダクツ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	286,217	59,638	168,128	513,984	324	514,308
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20,251	2,274	22,525	—	22,525
計	286,217	79,889	170,402	536,508	324	536,832
セグメント利益	13,543	6,275	11,246	31,065	313	31,378

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	31,065
「その他」の区分の利益	313
全社費用(注)	△5,801
四半期連結損益計算書の営業利益	25,577

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間においては、「パッケージング&グラフィック」セグメントで1,305百万円の負ののれん発生益を計上しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	パッケージング& グラフィック	カラー& ディスプレイ	ファンクショナル プロダクツ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	322,372	87,007	206,157	615,536	306	615,842
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22,136	2,372	24,508	—	24,508
計	322,372	109,143	208,529	640,045	306	640,351
セグメント利益	16,056	3,156	20,434	39,646	335	39,981

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、当社はドイツBASF社が保有する顔料事業に関する株式及び資産を取得し、Colors & Effects USA LLC、他17社を連結の範囲に含めています。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「カラー&ディスプレイ」セグメントにおいて198,242百万円増加しています。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	39,646
「その他」の区分の利益	335
全社費用(注)	△6,722
四半期連結損益計算書の営業利益	33,259

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用です。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間においては、「カラー&ディスプレイ」セグメントで1,029百万円、「ファンクショナルプロダクツ」セグメントで248百万円の減損損失を計上しています。

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、当社はドイツBASF社が保有する顔料事業に関する株式及び資産を取得し、Colors & Effects USA LLC、他17社を連結の範囲に含めています。これに伴うのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、「カラー&ディスプレイ」セグメントで16,735百万円です。

なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。